

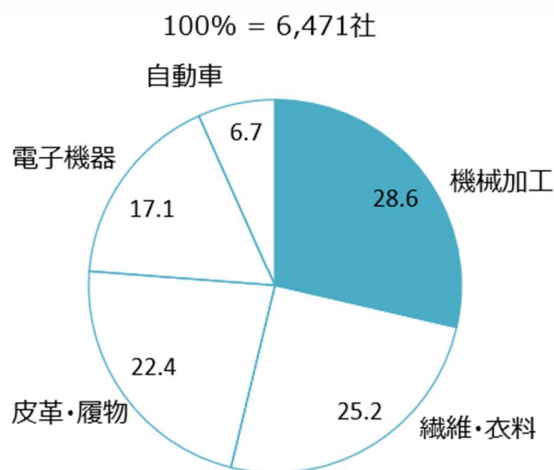
## ベトナム裾野産業の成長で高まる精密加工ノウハウへの需要

ベトナムでは、精密加工、現地調達、先端製造技術への需要が高まるにつれ、裾野産業が成長しています。中でもエレクトロニクス、自動車、半導体、および自動化の各分野が、高精度部品やエンジニアリングサービスの需要を牽引しています。こうした状況は、日本企業にとっても、投資、生産委託、業務提携、技術協力などの面でビジネスチャンスを生み出しています。

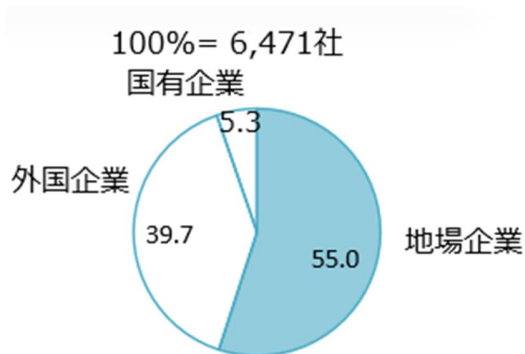
### 裾野産業の概要

2016年から2025年にかけて、ベトナムの裾野産業は、国家政策の下で発展を遂げてきました。2017年に発出された決定第68/QĐ-TTg号（2024年の決定第71/QĐ-TTg号により改正）では、「部品・スペアパーツ」、「繊維・衣料・皮革・履物」、「ハイテク」の3つを対象とし、技術支援、技術移転、外資系企業とのサプライヤー連携、融資優遇措置、および労働力育成を通じた、生産能力強化に重点が置かれています<sup>1</sup>。しかし、産業構造には依然として偏りがみられます。企業数では「機械加工業」が28.6%と最大の割合を占めていますが、「繊維・衣料」と「皮革・履物」の合計は47.6%に達しており、多くの企業が依然として労働集約型製造業に依存していることがわかります。一方、「電子機器」と「自動車」を合わせてもわずか23.8%にとどまっており、技術集約度の高い産業における生産能力が限られていることを示しています。

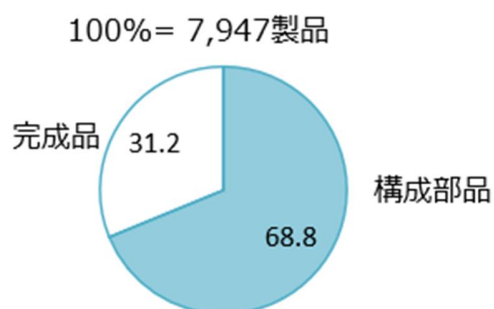
業種別企業割合（2020-2025年）



### 形態別企業割合



### 製品の割合



出典 : [Ministry of Industry and Trade of Vietnam](#)

企業形態を見ると、地場企業が 55.0%、外国企業が 39.7%を占め、両者を合わせると全体の 94.7%に達しています<sup>2</sup>。これは、地場企業や外国企業（FDI）が産業の拡大において重要な役割を果たしていることを示していますが、同時に、海外資本、技術、生産ネットワークへの依存が今も続いていることを示唆しています。

製品の構成を見ると、ベトナムの裾野産業は主に製造サプライチェーンの一部として機能していることがわかります。裾野産業の製品は全体の 68.8%を占めており、完成品（31.2%）の 2 倍以上のシェアを記録してい

## 滋賀県ベトナムビジネスサポートデスク

2026年6月発行

ます。これは、企業が素材、部品、コンポーネント、その他の中間財の生産をますます増やしていることを示しています。

一方で、一部の主要産業における現地調達率は依然として低く、「繊維・衣料・皮革・履物」では約45～50%、「機械加工」では15～20%、「自動車」ではわずか5～20%にとどまり、輸入材料への強い依存が続いています。これらの状況から、国内のサプライヤー基盤は、輸入材料に取って代わるほどにはまだ十分に強固ではなく、外国メーカーの要件を満たすには至っていません。したがって、輸入への依存度を低減し、製造業におけるベトナムの付加価値創出を拡大するためには、国内の裾野産業市場をさらに強化することが必要なのです。この観点から、サプライチェーン全体で必要とされる高精度部品、工具、金型、治具、その他の汎用部品などの生産を支える精密加工の役割は、今後ますます重要になると考えられます。

### 精密加工および製造ノウハウへの需要の高まり

ベトナムの機械加工産業には、企業約3,100社、生産施設53,000カ所以上があり、120万人以上の労働者を抱え、売上高は約1700兆VNDに達しています。2023年、同分野はベトナムのGDPの約24%を占め、産業発展において重要な役割を担っています。しかし、精密加工技術は周辺国と比較して依然として遅れており、ハイテク産業向けに高精度な部品、工具、金型、治具、その他の特殊機械部品を供給する上で課題となっています。

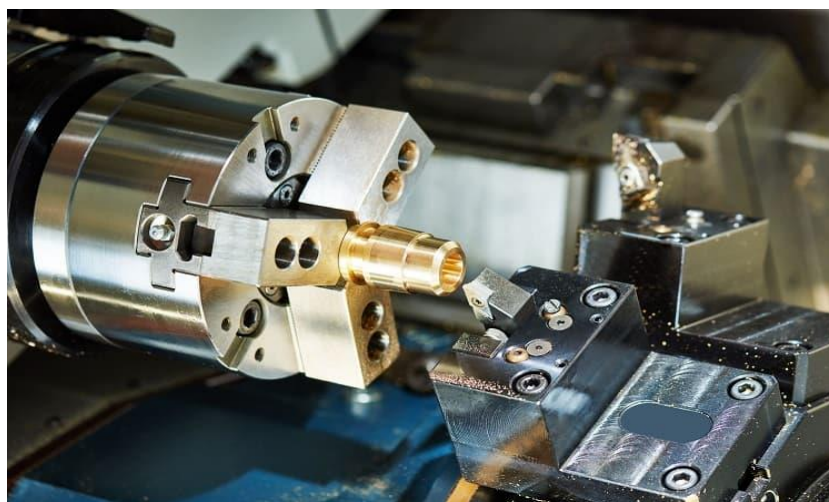
高付加価値な製造業が拡大を続けるにつれ、この課題はますます深刻化してきます。特に電子機器産業は現在、強力な成長の牽引役となっており、2024年の輸出額は総額約1,265億ドルに達しました。このうち、関連機器とその部品が725億6,000万ドル、スマートフォンとその部品が539億ドルを占めています。これらの分野では、回路関連部品、金型・治具、ロボット制御システム部品、自動組立装置など、厳しい公差、再現性、安定した表面品質を備えた高精度部品が求められています<sup>2,3</sup>。

その他の分野でも精密工学への需要が拡大しています。自動車や二輪車では、カムシャフト、ギア、トランスミッションシステム、金型、プレス金型、CNC加工部品などが求められています<sup>6</sup>。医療機器市場は2025年に約17.7億ドルに達すると予測されていますが、依然として輸入への依存度が高く、手術器具、義肢部品、その他の精密機器に対する需要が生じています。半導体分野では、Amkor Technology社の16億ドル規模の先端パッケージング工場や、Hana Micron社が計画している9.3億ドル規模の設備拡張が、チップパッケージング装置、ロボットシステム、および回路系アセンブリに使用される超精密部品の需要を牽引しています。航空宇宙分野は依然として規模は小さいものの、MRO（メンテナンス・修理・オーバーホール）分野の発展に伴い、高信頼性の航空機および制御システム用コンポーネントに対する需要が徐々に生まれています<sup>4,5</sup>。

## 滋賀県ベトナムビジネスサポートデスク

2026年6月発行

その結果、ベトナムの精密加工分野は、基本的な機械加工から、より高付加価値かつ高精度な生産へと徐々に移行しつつあります。サプライヤーには、試作、精密測定、欠陥の低減、安定した量産といった高度な能力がますます求められています。しかし、電子機器や自動車向けの高精度金型製造といった重要な分野では、しかし、国内供給能力はなお限られており、市場は日系をはじめとする外資系精密加工メーカーが主導しています。地場企業は世界基準の品質・信頼性を満たすべく、日々能力の向上に取り組んでいます。



出典：[Yamaguchi Vietnam](#)

以下、精密加工分野の企業の事例をいくつか紹介します。

### 精密加工企業の例（順不同）

No.	企業名	所在地	国籍	主な製品・サービス
1	<a href="#">Misumi Vietnam</a>	北部	日本	FA 機器、プレス金型、プラスチック金型、ハイテク機械、および測定機器向けの精密部品
2	<a href="#">Aizaki Vietnam</a>	南部	日本	5 軸 CNC フライス加工、CNC 旋盤加工、研削加工、ワイヤ放電加工、金属部品
3	<a href="#">Takako Vietnam</a>	南部	日本	油圧ピストンポンプ、モーター、および関連する精密部品
4	<a href="#">Yamaguchi Vietnam</a>	北部	日本	CNC 精密加工、アルミニウムダイカスト、治具の設計・製造、表面処理、熱処理、および産業用計測・試験機器の販売
5	<a href="#">Yamazen Vietnam</a>	南部	日本	CNC 工作機械、マシニングセンタ、研削盤、切削工具、測定工具、自動化装置、および精密加工に関する技術サポート

## 滋賀県ベトナムビジネスサポートデスク

2026年6月発行

6	<a href="#">THACO Industries</a>	南部	ベトナム	プラスチック射出成形金型、プレス金型、押出成形金型、ブロー成形金型、精密加工
7	<a href="#">Intech Group</a>	北部	ベトナム	CNC 精密加工、検査治具、組立治具、機械部品、旋盤加工、フライス加工、レーザー切断
9	<a href="#">Hameco</a>	北部	ベトナム	鋳造、製造、CNC 加工、熱処理、組立、金型・治具、歯車、軸、フランジ、ベアリング、カップリング、および大型機械加工部品
10	<a href="#">Duy Tan Precision Mold</a>	南部	ベトナム	プラスチック金型の設計・製造

出典：B&Company's synthesis

全体として、裾野産業が中間財の供給へとシフトし、製造業者が現地調達率の向上を図る中、精密加工はニッチな専門分野というよりも、不可欠な機能になりつつあります。高度な技術要件を満たすことができる企業は、単なる下請け業務の枠を超え、サプライチェーンにより深く参画できるようになると考えられます。

### 日本企業の事業機会

国内の製造業および裾野産業の強化が進んでいることから、日本企業にとっても精密加工分野の有望な市場となりつつあります。裾野産業の企業数は増加しているものの、いくつかの産業における現地調達率は依然として比較的低く、輸入部品や海外サプライヤーへの依存が続いていることを示しています。この状況は、高度な生産能力、安定した品質管理、そして技術的ノウハウを有する企業にとって、現地サプライチェーンの拡大や現地化の取り組みを支援する機会となります。この可能性は、電子機器、自動車、二輪車、医療機器、半導体、自動化関連の製造業など、技術的な要件が高い業界において特に顕著です。これらの分野では、精密部品、金型、治具、CNC 加工部品、測定工具、および生産技術支援に対する需要の拡大が見込まれています。

市場参入にあたって、日本企業は事業の目的や求める管理・統制の度合いに応じて、さまざまな形態の提携を考慮する必要があります。技術、品質、生産基準を直接管理する必要がある場合、ベトナムに新たな製造・エンジニアリング拠点を設立することが適しています。同時に、実績のあるベトナム企業との連携も現実的な選択肢となり得ます。特に、サプライヤーとの提携、技術協力、合併事業、生産委託、あるいは人材育成支援といった形が考えられます。こうした取り組みを通じて、日本企業はベトナムでの生産活動を拡大するだけでなく、現地の生産能力の向上や、裾野産業エコシステムの強化にも貢献できるでしょう。

## 滋賀県ベトナムビジネスサポートデスク

2026年6月発行

ベトナム市場には多くの課題があるものの、今後の成長が見込まれる非常に有望な市場です。この機会に、ベトナムへの事業展開をご検討されてはいかがでしょうか。

サポートデスクのご利用をお待ちしております。

### 『問い合わせ先』

メール：shiga-supportdesk-vietnam@b-company.jp

電話：

【日本からかける場合】+84-28-7303-7354

【ベトナム国内からかける場合】028-7303-7354

ホームページ：

<https://www.pref.shiga.lg.jp/zigyousya/shien/syoukouroudou/345188.html>

---

<sup>1</sup> <https://xaydungchinhsach.chinhphu.vn/sua-doi-bo-sung-quyet-dinh-cua-thu-tuong-chinh-phu-ve-phat-trien-cong-nghiep-ho-tro-119240118061748761.htm?>

<sup>2</sup> <https://www.vietnam-briefing.com/news/vietnam-medical-devices-market-outlook-projections-insights.html/>

<sup>3</sup> <https://www.vietnam-briefing.com/news/vietnam-medical-devices-market-outlook-projections-insights.html/>

<sup>4</sup> <https://en.vcci.com.vn/economic-news/amkor-eyes-further-expansion-in-bac-ninh-province-as-vietnams-semiconductor-push-gathers-pace-116972>

<sup>5</sup> <https://www.techinasia.com/news/south-koreas-hana-micron-boosts-vietnam-chip-ops-930m>